



6月 ももぐみくらすだより



晴れたり雨が降ったり、天気の移り変わりが多い季節となりました。室内や戸外に関係なく、子どもたちは汗ばみながらも日々色々な遊びを楽しんでいます。段々と自分でできることが増えてきたもも組さん。靴を履いて、帽子を被って園庭に出る、オムツをロッカーから取ってトイレに行く、着替える服を持ってきて袖に手を通す、ズボンに足を通す、など日々習慣付いてきているようです。少しずつ時間をかけて、自分でできることが増えていけるよう見守っていきたいと思います。



～室内遊びの子どもたちの姿～

「先生！出来たよ！」と Sくんが駆け寄ってきました。「何作ったの？」と聞くと、僕ね、カップケーキ作ったんだよ！」と、見せてくれました。



Yちゃんは五角形のマグフォーマーだけで大きいボールを作っているようです。



三角のマグフォーマーを持ってきたKくん。マグフォーマーを食材に見立てて、何かご飯を作っているのかな。



Tちゃんは、ボタンを付ける練習中！プチッ、プチッと上手に付けています。



「遊び」は子ども自身が「やりたい」と思って自発的にする活動です。自分が興味や関心がある遊びを選び、実行することで、自分自身を表現する力が身につきます。また、「遊び」の中で「これはなに？」「どうして？」などの疑問が生まれ、疑問を解決するための探求心が子どもの可能性を引き出すことができるのではないのでしょうか。私達が遊びを作り出し、広げるのではなく、子どもたち自身が作り出す「遊びの世界」を大切にしていきたいと思います。

おねがい

- ・木曜日の夕方、園舎に入られるときは、各自ロッカーの整理をお願いします。オムツの枚数や汚れものを入れる袋の枚数の確認をお願いします。
- ・毎日、服の補充を2セット、オムツ5枚を登園バッグに補充をお願いします。